奥州こおり宿 楽市楽座in山車フェス

町制70周年を祝う 人々の饗宴

大賑わいの役場会場

1_イベントのメイン会場となった桑折町役場。13台の山車や34店舗にもおよぶ飲食・体験ブースが立ち並びました　2_陽気なトークで会場を沸かせた総合司会の野村さん　3_息ぴったりの芸を披露する日光さる軍団の猿回し　4_売れるごとにどんどん値が下がるバナナの叩き売り。伊達果実農業協同組合職員の威勢のいいかけ声でお客さんを呼び込み、新鮮バナナを売りさばきました

町制施行70周年記念事業「奥州こおり宿　楽市楽座in山車フェス」が9月28日、役場をメイン会場に盛大に開かれました。記念すべき日を祝うかのように清々しい青空が広がり、約8、000人がさまざまなアトラクションを楽しみました。

奥州・羽州街道の分岐点「追分」として栄えた桑折宿の再現をメインテーマに、町内に現存する13台の山車の競演に加え、各地のご当地グルメや出し物などが集結しました。

午前9時20分、祝砲が打ちあがると、町消防団ラッパ隊のファンファーレが鳴り響き、13台の山車が旧伊達郡役所を出発。町制史上初めて町内全ての山車が出そろい、役場までの約2キロメートルを練り歩く姿は壮観で、町民一人一人の故郷への熱い思いがあふれていました。

役場会場の特設ステージでは、テレビ番組MCでおなじみの野村浩二さんを総合司会に迎え、半田醸芳小学校児童らによる半田銀山祇園囃子、よさこい、キッズダンスなど地元団体の発表をはじめ、日本を元気にすべく活動するユニット「けっぱって東北」による歌とダンス、お笑いコンビ「テツandトモ」によるお笑いステージなど、豪華ゲストが会場を大いに盛り上げました。

かつて、仙台城の完成を祝う宴席で、石工たちが伊達政宗の前で即興で披露した踊りをルーツにもつ「すずめ踊り」を披露したのは聖和学園高等学校（仙台市）の「聖和雀組」。鮮やかな扇子を手にした踊り手が囃子に合わせて楽しげに演舞し、ハレの日に満開の花を添えました。各種全国大会で1位を獲得した音色を響かせたのは帝京安積高等学校和太鼓部。体の芯にまで響く太鼓の音が会場に広がると、その気迫ある演奏に息をのむ来場者の姿がありました。節目を迎えた桑折町の新たなスタートを鼓舞するかのように、力強く勇ましい音色が轟きました。

また、会場には各地のご当地グルメや学生ボランティアのみなさんが企画した体験ブースなど34店舗が立ち並び、伊達果実農業協同組合によるバナナの叩き売りや日光さる軍団の猿回しも行われ、会場内は大賑わい。人やモノの交流が盛んであった桑折宿の再現と故郷を象徴する誇り高い山車による饗宴は、多くの人に支えられながら盛会裏に幕を閉じました。

テツandトモお笑いステージ

開演前から多くの人がステージ前に詰め寄り、2人が登場すると湧き上がる大歓声。地元ネタを取り入れたパフォーマンスで観客の心をつかみ、おなじみの「何でだろう～」を全員で披露するなど、会場は笑いと元気で包まれました

地元団体などによるステージ

5_町内にある民間学童保育「キッズハウスぐらんま」に通う子どもたちによるキッズダンス　6_東北応援プロジェクト「けっぱって東北」　7_半田銀山太鼓銀栗保存会による半田銀山神楽　8_半田醸芳小学校児童らによる伝統の半田銀山祇園囃子　9_こおりよさこいクラブ

帝京安積高等学校 和太鼓部

学生企画縁日

町特産の桃にちなんだゲームが体験できる縁日コーナー。親子連れでにぎわいました

聖和学園高等学校 聖和雀組

各地から集結した出店ブース

町内はもちろん、山形県や宮城県などからも自慢の逸品が集う出店ブース。お祭りの定番グルメをはじめ、ご当地名物や海鮮焼きなど、多彩な味わいが来場者をもてなしました。山車を眺め、ステージショーを楽しみながら、心もお腹も満福の一日となりました

フィナーレを飾る祝い餅まき

イベントのフィナーレでは、紅白餅300個が宙を舞いました。ステージ出演者や若連、町内会のみなさんがステージや山車の上から餅をまき、シャインマスカットやイベントオリジナルキーホルダーが当たる“当たり付き”の餅を手に入れようと、参加者は必死に手を伸ばしました。会場は、終宴に向けて熱気に包まれ、最後まで大いに盛り上がりました